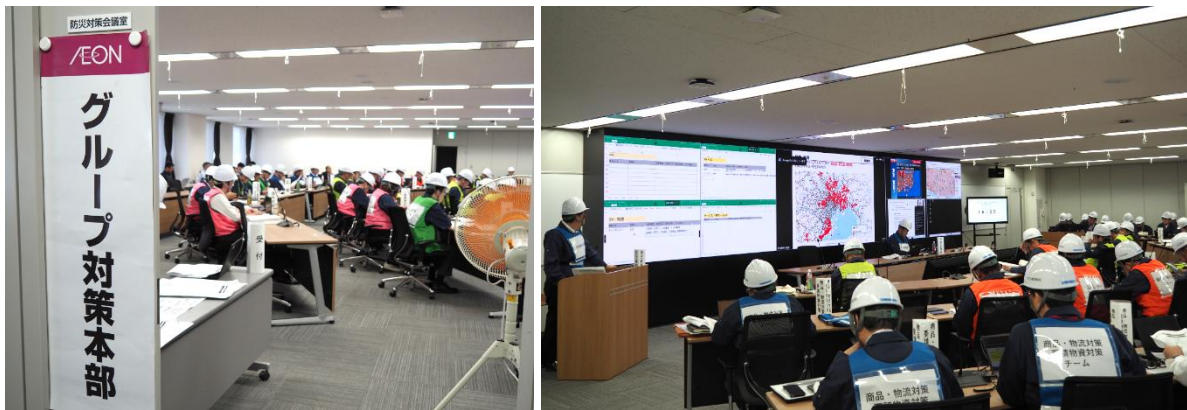


2026年7月8日
イオン株式会社

「2026年上期グループ総合防災訓練」を実施

～首都直下地震を想定し、避難・安否確認・代替対策本部の立上げと情報連携を検証～

イオンは、都心南部を震源とする首都圏直下地震が発生したという想定で、2026年上期「グループ総合防災訓練」を実施しました。訓練では、首都直下地震（M7.3、最大震度7）を想定し、発災直後、24時間後、72時間後までの初動・指揮命令・情報連携を確認しました。



《発災直後から24時間後までの主な訓練内容》

- ・イオンタワーにおけるシェイクアウト訓練の実施、および館外避難の徹底
- ・建物安全確認の実施
- ・通信の混雑化を想定した連絡手段の確保
- ・小牧危機管理センターでのグループ代替対策本部の立上げ、指揮命令系統の確立
- ・エマージェンシーコールによる初動情報の一斉発信
- ・安否確認システムの運用（被害想定の大い1都3県への優先発報）
- ・災害報告システムの発報・集約による被害状況の把握
- ・延焼リスク地域に対する早期避難の周知・注意喚起
- ・帰宅困難者の受入対応の確認（トイレ提供、水の配布、情報提供等）

イオンは、「グループ総合防災訓練」を定期的実施し、被災状況など情報集約型の訓練だけでなく、店舗・事業所においては発災直後30分間のお客さま・従業員の行動計画を策定し、計画通りに対応ができるのかなど実践的な訓練を推進しています。今後も、現場の事業継続能力を向上させることで、リスクからお客さまや従業員を守ることを目指すとともに、地域のお客さまの暮らしを支えるライフラインとしての社会的責任を果たしてまいります。

※イオン㈱ホームページに防災の取り組みを掲載しています。以下のリンクよりご確認をお願いします。

[イオンの防災](#)